EaseUS® Todo Backup





もくじ

ご利用頂きありがとうございます 1
はじめに
ハードウエア要件
システム要件
対応しているファイルシステム
対応しているハードディスク
ライセンス認証
製品比較
メイン画面
バックアップ
システムバックアップ
ディスク/パーティションバックアップ 8
コマンドラインバックアップ 10
ファイルバックアップ
スマートバックアップ
メールバックアップ
定期バックアップ
スケジュール設定
バックアップ方法
イメージの保存設定
作成したバックアップを編集 22
バックアップオプション
クラウドにバックアップ
復元
システムの復元
ディスク/パーティションの復元 31
ファイルの復元
スマートバックアップの復元 37
メールの復元
参照して復元
個別ファイルの復元
システム移行
クローン
ハードディスクのクローン

パーティションのクローン	46
上級者向けサーバーツール	47
Exchange のバックアップ	48
SQL バックアップ	49
ツール	52
イメージをチェック	52
ブータブルディスクの作成	53
データ消去 5	56
テープ管理 {	56
Pre-0S を有効/無効にする	56
ISCSI イニシエーター	57
PXE サーバー設定 5	57
P2Vコピー	58
P2V 復元	60
P2V の変換	60
マウント/アンマウント	61
WinPE の特別ツール	63
Windows シェル	63
ドライバーマネージャー	63
ネットワークマネージャー	63
MBRの修理	63
パーティションのチェック	63
ログ	64
基本設定	65
サポート	66
免責	66

ご利用頂きありがとうございます

EaseUS Todo Backup をご利用いただきありがとうございます。本製品は家庭用 PC、ワーク ステーション、サーバー向けの総合データバックアップソフトとして世界中で広くご利用 いただいています。OS、ドキュメント、写真、音楽その他重要なデータを効率的かつ安全 にバックアップします。本製品が作成するイメージバックアップを使えば、信頼性の高い バックアップをおこなっていただくことができます。システムのクラッシュ、パーティシ ョンやディスクの破損、ウイルス感染、データ損傷などソフトに起因するほとんどの問題 を迅速かつ容易に解決することができます。

はじめに

本製品の機能概要とライセンス認証方法について解説します。 本項をお読みいただくことで本製品に関する概要をご理解いただくことができます。

ハードウエア要件

500 MHz 以上のプロセッサー 1GB 以上の RAM、Windows 8/8.1 以前の場合は 2GB 以上 ハードディスクに 1GB 以上の空き領域 CD-R/RW、DVD-R/RW、DVD+R/RW もしくは DVD+R DL ドライブ キーボード、マウスまたはその他のポインティングデバイス

システム要件

本製品が動作対応している OS は以下の通りです。

- Windows XP®
- Windows Vista®
- Windows® 7
- Windows® 8
- Windows® 8.1
- Windows® 10
- Windows Server® 2003
- Windows Server® 2008
- Windows Server® 2008 R2
- Windows Server® 2012
- Windows Server® 2012 R2

- Windows Small Business Server 2003
- Windows Small Business Server 2008
- Windows Small Business Server 2011

対応しているファイルシステム

EaseUS Todo Backup が対応しているファイルシステムは次の通りです: FAT12、 FAT16、 FAT32 および NTFS。

その他のファイルシステムは「その他」と表示されます。EaseUS Todo Backup ではその他 のファイルシステムのバックアップやクローンにも対応していますが、セクタバイセクタ による対応となります。

対応しているハードディスク

IDE、EIDE、SATA、ESATA、ATA、SCSI、iSCSI、USB 1.1/2.0/3.0の各ディスクおよびファ イヤーワイヤーディスクに対応しています。本製品が対応しているディスク容量の上限は 16TBです。

CD-R/RW、DVD-R/RW、DVD+R/RW、DVD+R DL へのバックアップにも対応しています。また、ダイナミックディスク、MBR および GPT ディスクにも対応しています。

ライセンス認証

EaseUS Todo Backup トライアル版を初めて起動するとライセンスコード入力画面が表示されます。25 桁のライセンスコードを入力すると、製品版としてご利用いただけるようになります。

EaseUS Todo Back	upのライセンス認証	×
現在のライセンス	: 無料版 今すぐライセンス購入	
ライセンスコード:		
	ライセンス認証	後で

ライセンスコード入力をスキップした場合でも、メイン画面下部のリンクからライセン スコード入力画面を起動することができます。



オフライン認証

EaseUS Todo Backup はオフラインによるライセンス認証にも対応しています。 詳細は<u>こちら</u> を参照してください。

製品情報	×
EaseUS Todo Backup 9.0.0.0 (build 20151208)	
ライセンスコード: 無料版 変更 マシンコード: 993AB10950C91D76	
Copyright © 2004-2015 EaseUS. ALL RIGHTS RESERVED. http://backup.easeus.jp/rd/about	

ヒント:

マシンコードとはハードウエア情報に基づいて本製品が生成した独自のコードで第三者に よるライセンスのハッキングから保護するものです。

ライセンスコードの変更

ライセンス認証済みの PC で使用している EaseUS Todo Backup を別のライセンスコードで

ライセンス認証する場合、プログラム画面右上部にある^{III}ボタンをクリックし、「**製品情 報」>「変更」**を選択します。

製品情報	×
EaseUS Todo Backup 9.0.0.0 (build 20151208)	
ライセンスコード: 無料 <mark>板 変更</mark> マジンコード: 993AB10850C91D76	

注意:

ライセンスは同一製品に対して発行されたものをご使用ください。

製品比較

EaseUS Todo Backup にはライセンス認証方法、利用できる機能や期間が異なる6種類の製品が用意されています。

Free :家庭ユーザー向けで PC1 台、個人利用の場合に限ってお使いいただけます。

Home :家庭ユーザー向けの基本バージョンで、主要機能の一部をご利用いただけます。

Workstation : 企業ユーザー向けバージョンで、ダイナミックボリュームのバックアップ/ クローン、システム移行、仮想化などの追加機能もご利用いただけます。

Server :Windows Server 向けのバージョンで Workstation の機能を全ての Windows Server OS でご利用いただくことができます。

Advanced Server : Windows Server の上級ユーザー向けバージョンで Server の機能に加 え、Exchange Server や Microsoft SQL のバックアップにも対応しています。

Technician : システム管理者や技術者など IT 専門家向けバージョンで製品の全機能に加 えてテクニカルサービスもご利用いただくことができます。

ヒント:

Technician と Free 以外の製品は 30 日間無料でご利用いただけます。

製品機能比較

	Free	Home	Workstation	Server	Advanced Server	Technician
スマートバックアップ	0	0	0	0	0	0
ディスク/パーティション バックアップ	0	0	0	0	0	0
ファイルバックアップ	0	0	0	0	0	0
増分/差分バックアップ	0	0	0	0	0	0
ダイナミックボリュームの			0	0	0	0
バックアップ/クローン			0	0	0	0
定期バックアップ	0	0	0	0	0	0
システムバックアップ	0	0	0	0	0	0
イメージの保存設定	0	0	0	0	0	0
システム移行			0	0	0	0
MS SQL サーバーの バックアップ					0	0
Exchange サーバーの バックアップ					0	0
テープにバックアップ			0	0	0	0
WinPE ブータブルディスク	0	0	0	0	0	0
Pre-OS の有効化	0	0	0	0	0	0
Windows 右クリック バックアップメニュー	0	0	0	0	0	0
MS サーバーOS 対応				0	0	0
ビジュアル化(P2V)			0	0	0	0
Outlook のバックアップ		0	0	0	0	0
E-mail 通知、pre/post コマンド		0	0	0	0	0
除外ファイル		0	0	0	0	0
コマンドラインバックアップ			0	0	0	0
クラウドにバックアップ		0	0	0	0	0

メイン画面

新しいメイン画面は3画面で構成されています。

バックアップ

利用可能な全てのバックアップオプションがここに表示されます。いずれかをクリックす れば該当するバックアップの作成を開始します。「その他のバックアップ」のドロップダウ ンメニューに表示される項目はお使いのライセンスの種類によって異なります。高度なラ イセンスをご利用の場合には多くのリストが表示されます。

個別の機能に関する詳細は別項をご参照ください。

バックアップ管理と復元



旧バージョンのバックアップ管理ページをメイン画面に統合して表示できるようにし、全 てのバックアップに関する操作が表示されるようになりました。プラン名、保存場所など バックアップに関する基本的な情報はこの画面上に表示されています。また、定期バック アップの「一時停止」もこの画面から行うことが可能です。

この画面から直接復元操作を開始することも可能です。各バックアップにある「復元」ボ タンをクリックすると、設定ページに移動します。 「システム移行」と「参照して復元」については別項にて説明します。

その他

「クローン」、「ログ」および「ツール」の各機能を起動します。

バックアップ

重要データのコピーを取ることをバックアップと言い、PC にトラブルが発生した場合の復 旧作業の際に利用します。従って、バックアップの主な目的とはシステムのクラッシュや データ損失に備える有効な手段であると言えます。

本製品を利用するメリットは次の通りです:

1. 定期的なバックアップをおこなうことができます。(特別な操作をおこなうことなく自動的にバックアップをおこないます。)

2. 増分および差分バックアップにも対応しています。(最初に全てのバックアップを実行した後はバックアップにかかる時間やディスク領域を短縮・縮小することができます。)

 複数のバックアップデータを保存し、その中から最適なものを選んで復元することもで きます。(例:同一ディスク上に1週間前、2週間前および3週間前のデータをバックアッ プし、その中から何週間前の状態に復元するか決めることができます。)

バックアップファイルはマウントして検索することができます。(素早く見つける場合にはファイルをコピーすることが可能です。)

システムのイメージを元のドライブあるいは新しいドライブに復元し、容易にシステムを 再び起動できるようにします。

ヒント:

迅速かつ確実なバックアップをおこなうため、全てのプログラムを終了してからバックア ップ作業を実施してください。また、バックアップしたイメージの保存先はバックアップ したファイルとは異なるパーティションやディスクにしてください。

システムバックアップ

Windows OS は今日の PC には不可欠な OS ですが、システムクラッシュに備えて定期的にバ ックアップする必要があります。

EaseUS Todo Backup を使用すれば簡単に OS クラッシュに備えることができます。システム 起動に必要なパーティションがバックアップ対象として自動選択されています。「ターゲッ ト」、「プラン名」と「詳細」を設定するだけでバックアップを作成することができます。

ステムバックアップ					₩ - ■
システム名		場所	ť	イズ	
Mindows 7 Service Pa	ck 1	C:¥ *:¥	98	11.47GB	
			バックアップの する場合	Dターゲットを はここをクリ	変更
現在のシステムしかバックアッフ	°できません。			_	\prec
ターゲット: 🦳 C:¥My Backup	s¥		空き容	·量:625.64 GB/917	.76 GB
プラン名: システムバックアップ			「ックアッププランの説明		
昔 スケジュール設定	😰 バックアップオプション		→ イメージの保存設定		
			上級者向けバ	ックアップ設定	E
				✔ 実行	× キャンセル

基本設定:

ターゲット:フォルダーのアイコンをクリックしてバックアップの保存先を指定します。 プラン名と説明:検索を容易にするため、プラン名とプランに関する説明を設定します。

上級者向けバックアップ設定

これらを設定することで、フレキシブルな自動バックアッププランを作成することができます。

バックアップの「スケジュール設定」、「バックアップオプション」、「イメージの保存設定」 を行うことができます。

各機能の詳細は別項にて解説しますが、これらの上級者向け設定を行わない場合でもシン プルで完全なバックアップイメージを作成することができます。

ディスク/パーティションバックアップ

一般的な PC には最低 1 台のハードディスクが搭載されています。新しい PC を購入した場合、ハードディスクに Windows OS、プログラムやファイルをインストール/保存するためのパーティションが設定されています。

1 台のハードディスクに 2 個のパーティションが設定されている場合、いずれかが C:パー ティション (Windows パーティション) に設定されおり、もう一方はデータ保存パーティシ ョンもしくはその他の目的のためのパーティションとなります。 「システムバックアップ」を使用すれば C:パーティションをバックアップすることは可能 ですが、ハードディスク全体をバックアップすることはできません。

ハードディスク全体や異なるパーティションのバックアップを行う場合は「**ディスク/パー** ティションバックアップ」を使用してください。

ディスクバペーティションバックアップ	× 🗆 – 🛱
ディスクノパーティションの選択	
🗌 🖌 ハードディスク 0 (931.51 GB. 、基本. 、MBR)	
*: (FAT16) 	RECOVERY *: (NTFS) 空き容量(5.66 GB/13.71 GB)
OS C: (NTFS) 空ぎ容量(625.64 GB/917.76 GB)	バックアップのターゲットを変更 する場合はここをクリック
ターゲット: 📄 C¥My Backups¥	空き容量: 625.64 GB/917.76 GB 🛛 🗸 🕒
プラン名: ディスカバックアップ	
亡 スケジュール設定	🗔 イメージの保存設定
	上級者向けバックアップ設定 実行 × キャンセル

基本設定:

セクタ バイ セクタ バックアップ:選択したディスクやパーティションをセクタモードで バックアップします。全てのデータセクターと空きセクターがバックアップされます。

セクターレベルでのバックアップは高品質ですが、通常のバックアップよりデータ容量が 大きく、バックアップデータの作成にも時間がかかります。

<mark>ターゲット</mark>:フォルダーのアイコンをクリックしてバックアップの保存先を指定します。 <mark>プラン名と説明</mark>:検索を容易にするため、プラン名とプランに関する説明を設定します。

上級者向けバックアップ設定

これらを設定することで、フレキシブルな自動バックアッププランを作成することができ ます。

バックアップの「**スケジュール設定」、「バックアップオプション」、「イメージの保存設定」** を行うことができます。

各機能の詳細は別項にて解説しますが、これらの上級者向け設定を行わない場合でもシン プルで完全なバックアップイメージを作成することができます。

ダイナミックボリュームバックアップ

ダイナミックボリュームとはダイナミックディスクの一部で、この種のハードディスクは LDM (Logical Disk Manager) データベースを使用してボリュームを管理します。基本ディ スクと異なり、ダイナミックディスクは複数のボリュームに分割することができます。 ボリュームのデータ保存に際しては、ミラーボリュームにおけるデータ冗長性や RAID-5 ボ リュームにおける耐障害性などボリュームの種類により様々な機能があります。 ボリュームのバックアップ手順も一般的なディスク/パーティションのバックアップ手順 と同様です。異なる場所に設定されたダイナミックボリュームであっても本製品のディス クマップ上では単一ディスク上に表示されるというのが唯一の相違点です。

よくある質問:

1. 「システムバックアップ」と「ディスク/パーティションバックアップ」の違いは何で すか?

A: 「ディスク/パーティションバックアップ」では表示された全てのパーティションをバ ックアップ対象として選択することができます。

「システムバックアップ」ではシステム起動をつかさどるパーティションをバックアップ ターゲットとして自動選択し、これを変更することはできません。

詳細は<u>こちら</u>をご参照ください。(英語)

2. ネットワークドライブをバックアップできますか?

A: いいえ。EaseUS Todo Backup ではネットワークドライブ上のファイルやデータしかバッ クアップすることができません。

3. バックアップイメージはどこに保存したら良いでしょうか?

A: バックアップイメージはローカルのハードディスク、ネットワークドライブおよびその 他の記憶媒体に保存することができます。

ただし、バックアップしたパーティションと同一のパーティション内には保存しないでく ださい。

コマンドラインバックアップ

EaseUS Todo Backup はプログラム画面からではなく Windows のコマンドを利用して直接バックアップの作成をおこなうことができます。コマンドを通して作成できるのはディスクバックアップ、パーティションバックアップ、およびシステムバックアップに限られます。

Windows のコマンドプロンプトを管理者権限で起動してください。その後「etbcmd」と入力 して EaseUS Todo Backup コマンドラインツールを起動します:

C Administrator: Command Prompt	
Microsoft Vindows [Version 10.0.10240] (c) 2015 Microsoft Corporation. All rights reserved.	
C:\VINDOWS\system32>etbomd EaseUS Todo Backup command line tool. Version: 8.8	

本ツールで使用できる全てのコマンドとパラメーターは次の通りです:

/a <action></action>	Specify the operation to execute. list: Check disk/partition details create: Create backup task
/?	execute: Execute backup task immediately EaseUS Todo Backup command line help information.
Inoration'list	
/d <disk></disk>	Select disk number to view. If the disk number is not specified, all disk information will be displayed.
19	EaseUS Todo Backup command line help information.
Operationtcreate	
/n <name></name>	Set backup task name. If the specified task already exists, it will automatically add number $(1), (2)$ after the task name.
/d <description> /s <source/></description>	(Optional) Add task description. Specify backup source (such as system backup, disk backup or partition backup)
	For example: /s system System backup /s 1,2,3:2,F Back up Disk1, Disk 2, Partition 2 of Disk 3 and Fartition F:
/1 <location></location>	(Optional) Specify storage path of backup image (local or network path is available). If no storage path is specified, the backup image will be saved
/u <username></username>	in celault path. (If set to back up to network storage, network credential info is needed)
terrestantes antisense	Network access username.
/p <password)< td=""><td>(If set to back up to network storage, network credential info is needed) Network access password.</td></password)<>	(If set to back up to network storage, network credential info is needed) Network access password.
/e <encrypt></encrypt>	(Optional) Set image encrypted password.
/c <compress></compress>	(Optional) Set image compression level. If the parameter is not set, the image compression level is normal. 0: no compression 1: normal compression 2: medium compression 3: bish compression
/i <splitting></splitting>	(Optional) Set image splitting size(MB). If the parameter is not set or it
/r <raw></raw>	(Optional) Execute sector-level backup. If the parameter is not set, the non-sector-level backup will be executed. 0, non-sector-level backup
/t <silent></silent>	(Optional) Silent mode. If the parameter is not set, it defaults to non-silent mode. 0, non-silent mode.
12	1: silent mode
12	EaseUS Todo Backup command line help information.
Operation:execute	
/n <name></name>	Set backup task name.
/t (type)	Specify backup type. If the parameter is not specified, the backup type is full backup. inc: incremental backup
/s <silent></silent>	dif: differential backup full: full backup (Optional) Silent mode. If the parameter is not set, it defaults to non-silent mode. 0. non-silent mode 1. silent mode
19	EaseUS Todo Backup command line help information.

バックアップ作成方法の一例:

For example: etbomd.exe /a create /n "Demo Task" /d "This is a Demo Task" /s 0:1 /l "D:\my backup" /e "password" /c 1 /i 0 /r 0 /t 0

バックアップするパーティションを確認するため、最初に PC 内の全てのパーティションと ディスクを表示してから作業してください。

C: \}	VINDC	¶S\system	32>ətbemd /a 1	ist					
Dist	s ID:				142415, C:				
TD.	Let	ter						Primary	Start (MB)
0	*:		Unknown	300.00 MB	300.00 MB	0Bytes	None	Primary	1
1	*:		Unknown	100.00 MB	100.00 NB	0Bytes	System	Primary	301
2	*:		Unknown	128.00 MB	128,00 MB	0Bytes	None	Primary	401
3	C:	System	NIFS	77.41 GB	57.19 GB	20.22 GB	Boot	Primary	529
4	*:		Unknown	450.00 MB	450.00 MB	0Bytes	None	Primary	79796
5	D:	VMware	NIFS	79.10 GB	75.82 GB	3.28 GB	None	Primary	80246
6	E:	Vork	NTF 5	78.13 GB	32.95 GB	45.18 GB	None	Prinary	161244
7	F:	Download	NIFS	62.50 GB	20.27 GB	42.23 GB	None	Primary	241244

システムをバックアップする場合は「/s system 」のパラメーターを使用します。Todo Backup がシステムと起動パーティションを自動選択します。また、上記リスト内の 1-3 の ように手動でパーティションを選択することも可能です。



ネットワークドライブをバックアップする場合の位置は次のように設定します:

	//192.105.1.110/Dackup	/u zhinui	/p easeus
Task name: Demo	Path	Username	Password
Compress level: Normal compression			
The image is unencrypted			
Backup task type: Local Full Disk Backup			
The content of backup: 1 partitions without drive lette	er (Unknown Partition).		
Initializing backup, please wait			
Backup is running, please wait patiently.			
Analyzing file system on partition 1 of disk O.			
Backing up file system on partition 1 of disk 0.			

ファイルバックアップ

長期間に渡って PC を使用していくうちに、ドキュメント、写真、音楽、動画などを含む重要なデータが蓄積されます。これらを定期的にバックアップすることが推奨されます。ファイルバックアップ機能を使用すれば、予期せぬデータ損傷に備えることができます。

ファイルバックアップ				\= □ ×
ファイルまたはフォルダを選択				ユーザー定義 ▼
 ▶ □ = ライブラリ ▶ □ = ドキュメント ▶ □ = ドキュメント ▶ □ = コンピューター ▶ □ = コンピューター ▶ □ = エンピューター ▶ □ = デスクトップ 	名前	容量	使用済の容量	
 バックアップのファイルセキュリラ 	ティ設定を保存 🗌 リパースポイントにお	見するコンテンツをすべ	バックアップのター する場合はこ て含める	-ゲットを変更 こをクリック
ターゲット: 📄 C:¥My Backups	¥		空き容量:625.64(3B/917.76 GB │ 〜 🕒
プラン名: ファイルバックアップ] 説明: パックア	ッププランの記述月	
曲 スケジュール設定	😥 バックアップオプション	1	メージの保存設定	
		Ŧ	級者向けバックアッ	プ設定
			V A	

基本設定:

バックアップのファイルセキュリティ設定を保存:チェックを入れた場合、NTFS 暗号化フ ァイルのセキュリティ設定を保存します。

リパースポイントに関するコンテンツをすべて含める:チェックを入れた場合、全ての Windows リパースポイントもしくはリンクを含めてバックアップされます。ただし、イメー ジファイルの容量が大きくなる傾向があるため、必要な場合のみ有効にすることをお勧め します。

ターゲット:フォルダーのアイコンをクリックしてバックアップの保存先を指定します。 プラン名と説明:検索を容易にするため、プラン名とプランに関する説明を設定します。

上級者向けバックアップ設定:

これらを設定することで、フレキシブルな自動バックアッププランを作成することができます。

バックアップの「**スケジュール設定」、「バックアップオプション」、「イメージの保存設定」** を行うことができます。

各機能の詳細は別項にて解説しますが、これらの上級者向け設定を行わない場合でもシン プルで完全なバックアップイメージを作成することができます。

バックアップするファイルの種類を特定する場合

フォルダー内にあるファイルのうち、種類を特定してバックアップを行う場合、画面右上のオプションから選択します。

					₩ _ ¤ ×
ファイルまたはフォルダを選択				(ファイルの種類・
	الريدية ما الم	لا ال−اد []	= 	J ⊮≆ □	7
	○○●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●<	■ ビデオ	這加		
🔽 バックアップのファイルセキュリテ	ィ設定を保存 🗌 リパースポイ	ントに関するコンテ	ンツをすべて含める		
ターゲット: 🦳 C:¥My Backups¥	6		でき空	∄: 625.64 GB/917	76 GB 🛛 🗸 🗎
ブラン名: ファイルバックアップ		i兑8月:	バックアッププランの読印		
曲 スケジュール設定	😥 バックアップオプション		一イメージの保存設定		
				✓ 実行	× キャンセル

「ユーザー定義」をクリックし、プルダウンメニュー内の「ファイルの種類」を選択しま す。一般的なファイル形式が6種類のカテゴリーに分類されます。

バックアップするカテゴリーを選択する、あるいは新しいカテゴリーを**「追加」**してくだ さい。

必ずバックアップするフォルダーを左パネルのツリー内にあるリストから選択してください。

ァイルまたはフォルダを選択				5	ァイルの種類 🔻
 ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○	►	ער-ג □	 □ ファイナンス	J ⊡ ê≹	
· MLJ IX21>Z	 □ 画像	■ ビデオ	—— 注意加		
 バックアップのファイルセキュリ 	」 ティ設定を保存 □ リパース	(ポイントに関するコンテン)	ッをすべて含める		22 / 1X
ーゲット: 📙 C:¥My Backup	s¥		空き容量	: 625.64 GB/917.76	GB ∨ E
		[说 ⁸ 月: /	「ックアッププランの記号		
ラン名: ドキュメント					

上記画面ではデスクトップ上のドキュメントをバックアップするように設定されています。

ヒント:

WindowsExplorer 上でファイルを右クリックし、「選択したファイルでスマートバックアッ プを作成」を選択してバックアップを開始することもできます。

スマートバックアップ

本製品のバージョン 7.0 以降に実装されているスマートバックアップを使用すれば、特定のファイルやフォルダーを 30 分おきに確認し、変更があった場合に新しいバックアップを取るように設定することができます。

注意:

ネットワーク上のファイルやフォルダーは本機能を使用してバックアップすることはでき ません。ディスク上のファイルやフォルダーのみバックアップすることができます。

スマートバックアップはこのような場合にご使用ください

本機能はデータベースを頻繁に更新したり、複数のユーザーとフォルダーを共有したりし ている場合に有用です。1日に複数個のバックアップファイルを生成しておくと、万一、不 具合が発生した場合、いつでも直前の正常なファイルを復元したり、数日前に遡った時の 状態に復元したりすることも可能です。

生成されるイメージの種類

本項目について理解するためには完全バックアップ、増分バックアップ、差分バックアッ プに関する知識が必要になります。

スマートバックアップの最初のバックアップイメージは完全バックアップで、7日ごとに、 その日の最初に全てのバックアップイメージが生成されます。翌日以降は1日の最初に差 分イメージファイルを生成します。全ての有効な日に生成されるのは増分バックアップと 呼ばれますが、PCの電源を切ったり、PCに不具合が生じたりした場合は無効な日と判断さ れ、バックアップイメージは生成されません。

古いイメージファイルの取り扱い

ターゲット領域を確保するため、スマートバックアップは次のルールに従って古いイメー ジファイルを削除します。

1. 前日に作成された全ての増分ファイルは翌日最初のイメージファイルが生成された時 点で消去されます。

2. 一度に保存できる差分イメージの上限は6個です。7個目のファイルが生成された後、 最初のファイルは削除されます。

3. 一度に保存できる完全イメージファイルの上限は2個です。

メールバックアップ

メールは今でも広く使用されており、また Microsoft Outlook が多くのユーザーにより使 用されています。長期間に渡ってメールを使う中で、重要なメールが増えてくると思われ ます。EaseUS Todo Backup を利用すれば、それらをバックアップして不測の事態に備える ことができます。

ヒント:

本機能は Windows Live Mail および Mozilla Thunderbird には対応していません。

Dutlook/パック	לצידר					₩ = ¤ ×
バックアッフ	プするメールを選択してく	ください。				Office Outlook 💌
	Y Microsoft Outlook					
					ターゲッ	トを変更する
					· 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	いここをクリック
5. Hall					如本宗王。1 60 丁口 /	
9-99F.					王で台里,1.00 15/	1.02 IB
プラン名:	Outlook/バックアップ			バックアッププランの説明		
曲 スケジ	ュール設定	😥 バックアップオプション		🔀 イメージの保存設定	È	
		Ŀ	級者向	コはバックアップ設	淀	
					✓ 実行	× キャンセル

バックアップするコンテンツを指定します。メールボックス全体のほか個別フォルダー、 連絡先、カレンダーをバックアップすることができます。

基本設定:

ターゲット:フォルダーのアイコンをクリックしてバックアップの保存先を指定します。 プラン名と説明:検索を容易にするため、プラン名とプランに関する説明を設定します。 上級者向けバックアップ設定

これらを設定することで、フレキシブルな自動バックアッププランを作成することができます。

バックアップの「**スケジュール設定」、「バックアップオプション」、「イメージの保存設定」** を行うことができます。

各機能の詳細は別項にて解説しますが、これらの上級者向け設定を行わない場合でもシン プルで完全なバックアップイメージを作成することができます。

定期バックアップ

バックアップ日時や間隔を設定した場合、定期的にバックアップを自動作成します。本機 能を使用することで重要なデータを容易にバックアップし、他の作業により集中できるよ うになります。

スケジュール設定とイメージの保存設定方法について次に記載します。

スケジュール設定

種類

EaseUS Todo Backup のフルバージョンではバックアップ間隔を5種類からお選びいただけます。

バックアップの方法		×
種類:	 ・ ・ ・	
バックアップ方法: 増分バック 回 毎日初めに実行するバ マ バックアップを実行するた マ スタートアップ時に実行で ユーザー:	アップ × ックアップ: 完全バックアップ × めPOを起動 きなかったバックアップをシャットダウン時に実行 パスワード:	
	~	適用 × キャンセル

ワンタイムバックアップ

バックアップを実行する日時を設定します。

毎日

バックアッププランを作成し、特定の時間あるいは間隔で毎日実行します。

時間:特定の時刻にバックアップをおこないます。時刻を追加する場合は 、削除する場合は をクリックします。1日最大5回バックアップを取ることができます。

間隔:バックアップの開始時、完了時および間隔を設定します。開始時を午前6時、完了時を午前10時、間隔を2時間と設定した場合、6時、8時および10時にバックアップを実施します。

毎週

バックアップをおこなう特定の曜日と時刻を指定します。バックアップは毎週繰り返され ます。

毎月

毎月特定の日にバックアップをおこないます。実施日は日付もしくは週から選択できます。 バックアップを実施する時間も同時に設定します。

毎週:週別に実施時間を設定します。例)毎月第1月曜にバックアップ実施。

開始:バックアップをおこなう日を選択します。

イベント時

EaseUS Todo Backup では以下 4 種類のイベント時にバックアップを実施することができます。

システム起動時:システム起動時にバックアップを実施。

シャットダウン:シャットダウン時にバックアップを実施(Windows Vista 以降では現在利 用できません)

ログオン時:Windows ヘログオンした時にバックアップを実施。

ログオフ時:Windows からログオフした時にバックアップを実施。

USB デバイス接続時:ターゲットに設定された USB デバイスが接続された時にバックアップを実施。

1日1度

有効にした場合、1日1度のみバックアップを実施します。

指定日

バックアップ実施日を指定します。無効にした場合は毎日バックアップをおこないます。

スタートアップ時に前回実施できなかったバックアップを実行

毎日、毎週、および毎月のバックアップを設定していたにもかかわらず、電源の不具合や PCのシャットダウンなどでバックアップを予定通り実施できなかった場合に次のPC起動時 にバックアップを自動で実行します。

<u>注意</u>:

Microsoft Exchange では「イベント時」機能はご利用いただけません。

バックアップ方法

バックアップ方法には次の3種類があります:「完全バックアップ」、「増分バックアップ」、 「差分バックアップ」。各バックアップについてスケジュールと実施方法を設定します。

バックアップの方法				×
種類: () ワンタイムバッ ④ 毎日 () 毎週 () 毎月 () イベント時	クアップ 0:00	 問稿 □ <li< th=""><th></th><th></th></li<>		
バックアップ方法: 毎日初めに バックアップを スタートアップ ユーザー:	増分バックアップ 完全バックアップ 増分バックアップ 差分バックアップ 実行するいといててるに思い 時に実行できなかったバッ	 クアップ クアップ クアップをシャットダウン時に実行 パスワード: 		
			✔ 適用	× キャンセル

増分または差分バックアップを選択した場合、最初のバックアップを「毎日」、「毎週」、「毎 月」から選択することでバックアップイメージのチェーンを短縮することができます。

完全バックアップ、差分バックアップ、増分バックアップの違いは<u>こちら</u>をご参照くださ い。(英語)

注意

ディスク/パーティションバックアップ、システムバックアップ、ファイルバックアップ以 外のスケジュール設定を管理者権限でおこなった場合にはログオフ時、スリープ時あるい は休止時でもバックアップを実施できます。従って、スケジュールを正しく設定するため には管理者権限とパスワードが必要となります。

イメージの保存設定

長期間に渡ってバックアップを繰り返すと、バックアップの保存先ディスクの容量が圧迫 されてしまいます。そのため、古いイメージファイルを削除して新しいバックアップイメ ージを記録できる領域を確保しておく必要があります。

EaseUS Todo Backup の「イメージの保存設定」を使えば、条件を設定して古いイメージフ アイルを削除することができます。

新しいバックアップ/スケジュールを設定する際にイメージの保存設定をクリックすると 設定ウィンドウが起動します。

イメージの保存設定	×
✓ イメージの保存設定を有効化	
○保存期限: 1 - 日 ∨	
● 保存する最新のイメージの数: B ・ バックアップ	
☑ 初めのイメージを削除しない	
□ イメージファイルを結合して保存 (複数のイメージがかさばらないようにできますが、バックアップに時間がかかります。)	
✓ 適用	× キャンセル

「イメージの保存設定を有効化」を有効化すると、以下のオプションが選択可能となりま す。古いイメージはオプション内で選択した期限、数、その他の条件に従って削除されま す。

初めのイメージを削除しない

有効にした場合、最初に保存したイメージは保存するイメージの数には加算されず、また イメージの保存設定ルールに基づいて削除されることもなくなります。

イメージファイルを結合して保存

有効にした場合、イメージファイルを結合してディスク領域を節約します。ただし、バッ クアップ作業に時間がかかります。

詳細は<u>こちら</u>をご参照ください。(英語)

作成したバックアップを編集

作成済みのバックアップ/スケジュールを編集することができます。誤りの修正やルールの 追加をおこなうことで、バックアップ操作をよりスムーズにおこなうことができるように なります。

作成されたバックアップに追加・変更できる以下のオプションはメイン画面に表示されま す。

復元

ファイルを復元します。詳細は別項をご参照ください。

バックアップ

完全バックアップ、増分バックアップもしくは差分バックアップから手動で選択します。 バックアップスケジュールを設定している場合、次回の自動バックアップはスケジュール 設定の内容に基づいて実施されます。

その他

プランを編集:ここで作成された全ての変更は現在のプランに対するスケジュールの有効 化、バックアップオプションの変更およびイメージの保存設定の追加に適用されます。

「保存」をクリックして変更を反映してください・

イメージ管理:作成された全てのイメージおよびそれらの種類を一覧表示します。手動で 削除することができます。

イメージをチェック:詳細は別項をご参照ください。

バックアップを削除:タスク情報のみ削除します。「イメージファイルの削除」にチェック を入れた場合は全てのイメージファイルを削除します。

P2V 変換:システムイメージを仮想ハードディスクファイルに変換し、VMware Workstation や MS Virtual PC で利用できるようにします。詳細は別項で説明します。

P2V 復元:システムバックアップイメージを仮想マシンに直接復元します。詳細は別項で説明します。

バックアップオプション

バックアップ開始前に設定可能なパラメーターや「**プランの編集」**から変更可能なパラメ ーターについて解説します。各パラメーターの詳細に関しては以下をお読みください。

領域

圧縮

バックアップファイルは圧縮することが可能です。矢印をスライドしてバックアッププランの圧縮率を決定してください。圧縮率が高いほどファイルのサイズが小さくなります。

バックアップオプション					×
サイズ く	圧縮(圧縮率が高くなるとパックアップ)	「時間がかかります。)			
パスワード	なし	標準	中		· 변 [코]
パフォーマンス	分割 ④ 自動 〇 手動 CD650	✓ MB (サイズを指定して)	てください。最小で50MBです。)		
Eメール通知					
カスタムコマンド					
オフサイトコピー					
除外ファイル					
👌 初期設定に戻	हेर्द			✔ 適用	× キャンセル

注意:

jpg、pdf、mp3 などもともと高圧縮率のファイルが含まれる場合には、バックアップイメージの圧縮率を「高」にした場合でも、イメージのサイズが大きく圧縮されない場合があります。

分割

大容量のイメージファイルを小さく分けて複数枚の DVD に保存すると言った場合のように、 バックアップイメージを数個に分割することができます。

自動:保存媒体のファイルシステムに基づいて最適なサイズに分割します。

手動: 既定のサイズから選択、あるいは分割サイズを直接入力します。最小サイズは 50MB です。

パスワード

バックアップファイルにパスワードを設定することができます。「パスワード設定」を有効 にしてから設定します。

パスワードに設定できる文字数は 15 文字未満です。パスワード保護には AES256 アルゴリ ズムを採用しています。

パスワードを設定したファイルを復元する場合、パスワードを入力するポップアップが表示されます。

パフォーマンス

バックアップオプション		×
サイズ	優先度 (優先度が高くなるとリソースの負担が大き(なります。)	
パスワード	低 中	古
パフォーマンス 🤇	ネットワーク転送速度 (* 0* の場合、制限はありません)	
Eメール通知		1000MB
カスタムコマンド		
オフサイトコピー		
除外ファイル		
<u>、</u> 初期設定(2)	実す 🗸 適用	× キャンセル

優先度

Windows は複数のアプリケーションを同時に実行することができる OS ですが、優先度を設定することで、優先的に実行するタスクを設定できます。

ネットワーク転送速度

0 Mbps に設定した場合は速度制限なしとなり、利用可能な全ての出入力リソースが本製品 に充当されます。 E-mail 通知

ログを直接確認する以外に、E-mail によってバックアッププランの結果を通知することができます。

SMTP やその他の設定値を入力すればバックアッププランの結果をメールで受け取ることができます。詳細はこちらを参照してください。(英語)

カスタムコマンド

バックアップ完了後に PC をシャットダウンするなど、バックアップの前後いずれかでコマ ンドを実行することができます。詳細はこちらを参照してください。(英語)

オフサイトコピー

EaseUS Todo Backup はハードディスクにバックアップイメージを保存する他、ローカルの FTP サーバー内にもバックアップを作成することができます。

バックアップオブション			×
サイズ パスワード パフォーマンス Eメール通知 カスタムコマンド オフサイトコピー 除外ファイル	 ▶ FTPコピーを有効化 ▶ FTPフドレス: ユーザー名: パスワード: 再試行: ● ● 回 □ パッシブモード ① ● □ ① ● □ 	ポート: 21 □ 臣名 Ţストパラメーター ません。	
♂ 初期設定に房	हेर्	✓ 適用	× キャンセル

「FTP コピーを有効化」にチェックを入れ、以下の項目を入力してください。

基本設定:

FTP アドレス:ネットワークの FTP アドレスを入力します。 ポート:FTP 接続に使用するポート番号を入力します。 FTP ネットワークにおいて、使用されるポート番号はアプリケーションもしくは複合的な役 割を果たす通信の終点をおこなうソフトウエアのプロセスに依存します。 **ユーザー名とパスワード**:FTP サーバーに接続する際のユーザー名とパスワードを入力します。

注意:

ネットワークサーバーがネットワーク上の全ユーザーと共有されている場合は「**匿名」**に チェックを入れてください。

追加設定:

再試行: 再試行する回数を設定します。何らかの理由で FTP サーバーに接続できなかった 場合、指定した回数だけ再接続を試みます。

パッシブモード: FTP には「PORT」と「PASV」の2種類のモードがあります。PORT モード が初期設定されています。チェックを入れると PASV モードに変更されます。 テストパラメーター:設定された内容で FTP サーバーが接続を確立することができるかテ ストします。

除外ファイル

バックアップの必要がないファイルの種類やフォルダーを指定してバックアップ対象から 除外します。

バックアップオプション	r.		×
サイズ	☑ 有効化		
パスワード	🧑 \$Recycle.Bin 🤠 *pbd	追加された種類もしくはフ	オルダーを削除
パフォーマンス	*tmp	90-88 B IACC2	
Fメール消産用	Users¥	*¥AppData¥Local¥Te フォルダーを追加する場合は	×
L. ////u	📙 C:¥Users¥	¥AppData¥Local¥M ここをクリック	
カスタムコマンド	ファイル拡張子、マスカーパン		istin .
オフサイトコピー		,	
除外ファイル 〈		ファイルの種類を入力して	5
		「追加」をクリック	J
🔥 初期設定(2)	戻す	✓ 適用	× キャンセル

フォルダーのアイコンをクリック、あるいはファイルの種類を入力し、「追加」をクリック します。「X」をクリックすると追加されたファイルやフォルダーを削除します。

クラウドにバックアップ

EaseUS Todo Backup で作成した「ファイルバックアップ」、「スマートバックアップ」、「メ ールバックアップ」および「Exchange バックアップ」をクラウド上に保存することができ ます。現在対応しているクラウドは OneDrive、DropBox および Google ドライブです。

🔇 EaseUS Too	do Backup Home 9.0 Trial	フォルダーを選択	j追加するクラウドドライブを選択 ×
	ファイルバックアップ	〇 パスを選択してください。	EaseUS Todo Backupでアカウントへのアクセス認証を取得するには、接続先にクラウドサービスを選択して下 さい。
ティスクバペーテ・ バックアッフ	ファイルまたはフォルダを ▶ □ □ □ 〒77599 ▶ □ □ ドキュメント ▶ □ □ お気に入り	クラウドストレージサービスを追加¥ ▶ 〒 ライブラリ ▶ 目 ドキュメント 	DropBox
8	 ■□ コンピューター □③ ネットワーク ■□ <u>デスクトップ</u> 	 ▶ 山 お気に入り ▶ コンピューター ▶ ③ ネットワーク ▶ ▲ NASデバイス マ 二 クラウドストレージサービス □ マニウマ コンサービス 	GoogleDrive CneDrive CneDrive
		▶ ☐ 〒スクトップ	×キャンセル
	🗹 バックアップのファイ,	フォルダーを作成	✓ OK ★ キャンセル
	ターゲット: 📄 C:¥My	Backups¥	空き容量:617.24 GB/917.76 GB
	プラン名: ファイルバック	アップ	以8月: /バックアップブランのII規8月
	曲 スケジュール設定	🤨 バックアップオプション	シー・シージの保存設定
			✓実行 ×キャンセル
試用期間残り30	日 ライセンス認証		

クラウドアカウントは使用するクラウドを選択後に表示されるウェブ画面で設定します。 Google ドライブの場合、次のような画面が表示されます:

Ease	JS Todo B	B ackup が汐 ます	₹の許可をリクエ ∵:	ストしてい
۵ (Google ドライブ	のファイルを表示	示および管理できます	(i)
許可]をクリ シーに従って その他のアナ	ックすると、このア あなたの情報を利 コウント権限をいう	?ブリと Google が [;] 利用することを許可 oでも変更できます	それぞれの利用規約とプラ 「することになります。この 。	イバシー ポリ アカウント権限や
			拒否	許可

復元

バックアップと反対のプロセスをおこなうことを復元と言います。圧縮されたバックアッ プファイルを解凍し、復元することでバックアップイメージが作成された時の PC の状態に 戻します。PC を襲うウイルス感染、クラッシュ、パーティション損失、ファイル破損など の様々な悲劇にシンプルな方法で備えることができます。

システムの復元

システムバックアッププランには「復元」、「バックアップ」および「その他」の3種類の ボタンがあります。「復元」ボタンをクリックすると作成したバックアップを使ってシステ ムを復元します。

♦ EaseUS Todo Backup Home 9.0 Trial		· 🖶 🗖	- = ×
日 日 日 N N N N N N N N N N N N N N N N N	し カローン	ت ت	У У−ル ▼
	[ā] \$	照して復元	並べ替え▼
□ ローカルディスク(ドライブレターなし) 場所: □ C¥My Backups¥ローカルディスク(ドライブレターなし) タスクが完了しました。	復元	איז איז דעשלאיז איז	〔〕 その他 ▼
日日 システムバックアップ 場所: □ C¥My Backups¥システムバックアップ タスクが完了しました。	復元	אין גאטדטל ד	だう3 その他 ▼
favorites 場所: □ C¥My Backups¥favorites タスクが完了しました。	(復元	 バックアップ • 	〔〕 その他 ▼
試用期間時130日 <u>ライセンス認証</u>			

バックアップイメージの「**履歴」**からバックアップに使用するものを選択し、内容を確認 して「**次へ」**ボタンをクリックし、復元先となるターゲットを選択します。

システムの復元	₩ = □ ×
 ・ システムバックアップ ・ 2015/12/15 15:09 完全バックアップ ・ 原歴 ・ 2015/12/15 15:09 完全バックアップ ・ 図 ・ ハート ・ の ・ ハート ・ の ・ の ・ の	
◎ 完全 ◎ 増分 ◎ 差分	
> 次へ	× キャンセル

注意:

システムの復元を実施する場合は元のシステムが上書きされてしまいますので、特にご注 意ください。エラーを起こした OS を復元する場合は WinPE ブータブルディスクあるいは Pre-OS が必要となります。

上級者向け復元設定

上級者向け設定を活用することで多くの場合、より安定的でスムーズにバックアップを復元できますが、これらの上級者向け設定を行わない場合でもシステムの完全な復元を行う ことができます。

システムの復元			₩ - ¤ ×
システムバックアップ 2015/12/15 15:09 完全パックアップ			
復元先:			
🗌 🖉 ハードディスク 0 (931.51 GB、、基本、、MBR)			
*: (FAT16) 空客容量(38.98 MB/39.19 MB)	RECOVERY *: 空き容量(5.66)	(NTFS)	
OS C: (NTFS)	未割り当て		
空き容量(617.24 GB/917.76 GB)	容量: 1.71 MB		
	_		
SSDに最適化 也均以代セクダ復元 上級者向け復元設定			
	< 戻る	✓ 実行	× キャンセル

システム移行: Windows を含むイメージを別の PC に移動します。詳細は別途解説します。 SSD に最適化: ターゲットディスクに SSD を設定した場合にチェックを入れると適切なセク タ配列でシステムを復元します。

セクタバイセクタ復元:イメージファイルの内容をセクタごとに復元します。元のパーティションもしくはハードディスク上にあった微細なエラーさえ復元するかのように元の状態に忠実に復元します。

復元後、元のセクタにファイルを再配置する場合に使うこともできます。

ディスク/パーティションの復元

ディスク/パーティションバックアップには「復元」、「バックアップ」および「その他」の 3 種類のボタンがあります。「復元」ボタンをクリックすると作成したバックアップを使っ て復元します。

🚯 EaseUS Todo Backup Home 9.0 Trial			= = ×
ディスクパペーティション ファイルバックアップ システムバックアップ スマートバックアップ メールバックアップ	① かーン	(ت ت	JS ツ−ル ▼
	ত্রি ৰ	照して復元	≣ 並べ替え ▼
□ ローカルディスク(ドライブレターなし) 場所: □ C¥My Backups¥ローカルディスク(ドライブレターなし) タスクが完了しました。	(復元) / (> / (> /) / (> /) / / / / / / / / / / / / / / / / /	だう その他 ▼
日日 システムパックアップ 場所: ○ C×My Backups¥システムバックアップ タスクが完了しました。	く復元	バックアップ マ	だう その他 ▼
「「favorites 場所: □ C¥My Backups¥favorites タスグが完了しました。	復元	パックアップ ・	だ その他 ▼
試用期間%数030日 <u>ライセンス認証</u>			

「**履歴」**の中からバックアップに使用するものを選択し、内容を確認して「**次へ」**ボタン をクリックし、復元先となるターゲットを選択します。

ディスカノパーティション復元	₩ - □ ×
ローカルディスク (ドライブレターなし) 2015/12/18 17:43 完全パックアップ 〕履歴	
 ディスク/パーテ 2015/12/15 17:43 完全バックアップ 復元するディ □ 4 ハート	
◎ 完全 ◎ 増分 ◎ 差分	
	> 次へ × キャンセル

注意:

ディスク/パーティション復元を行う場合、ターゲットディスク上のデータは上書きされて いまいます。適切な復元対象ディスクが選択されていることを確認してから作業してくだ さい。

上級者向け復元設定

上級者向け設定を活用することで多くの場合、より安定的でスムーズにバックアップを復元できますが、これらの上級者向け設定を行わない場合でもシステムの完全な復元を行う ことができます。

ディスク/パーティション(!	ī元					₩ - □ ×
በ-ታルディ 2015/12/15	スク(ドライブレターなし) 17:43 完全パックアップ					
復元先:						
- ^-F7	イスク 0 (93151 GB, 、基本, 、M *: (FAT16) 空き容量(38.98 MB/39.19 M OS C: (NTFS)	BR) B)		RECOVERY *: (空き容量(5.66 G 未書的当て	NTFS) B/13.71 GB)	
□ SSD(z最適化	空き容量(61724 GB/917.76	山田市のは	元設定	容量: 1.71 MB	> 次へ	× キャンセル

システム移行: Windows を含むイメージを別の PC に移動します。詳細は別途解説します。
 SSD に最適化: ターゲットディスクに SSD を設定した場合にチェックを入れると適切なセク
 タ配列でシステムを復元します。

セクタバイセクタ復元:イメージファイルの内容をセクタごとに復元します。元のパーティションもしくはハードディスク上にあった微細なエラーさえ復元するかのように元の状態に忠実に復元します。

復元後、元のセクタにファイルを再配置する場合に使うこともできます。

ディスク/パーティションモードとファイルモード

これらのオプションはシステムおよびファイルディスク/パーティションのバックアップ イメージで利用することができます。ディスク/パーティションイメージから個別のファイ ルを復元することができます。

ファイル復元	₩ _ □ ×
ローカルディスク(ドライブレターなし) 2015/12/15 17:43 完全パックアップ () 履歴	
○ ディスク/パーティションモード ◎ ファイルモード	
復元するファイルを選択: ● ファイル ● 種類 ● 検索	
○ 復元場所を指定:	参照
 ● 元の場所に復元 □ 既存のファイルに上書き 	
✓ 実行	× キャンセル

ディスク/パーティションモード

ディスク/パーティション全体のイメージを復元します。

ファイルモード

ディスク/パーティションバックアップイメージから個別のファイルやフォルダーを復元 します。

復元場所を指定: 選択したファイルやフォルダーを復元する場所を指定します。

元の場所に復元: 選択したファイルやフォルダーを元の場所に復元します。

復元後のパーティションサイズを決定する

ターゲットディスクとソースディスクの容量がそれぞれ異なる場合、EaseUS Todo Backup は復元開始前にパーティションのサイズを自動調整します。また、手動で調整することも可能です。

ディスクパペーティション復元				₩ - ¤ ×
ローカルディスク(ドライブレターなし) 2015/12/15 17:43 完全パックアップ				
復元先: ディスク0 *:				
■ ▲ ハードディスク 0 (931.51 GB, 、基本, 、MBR)				
* (FAT16) 空き容量(38.98 MB/39.19 MB)	•	RECOVERY *: 空き容量(5.66	(NTFS)	美 〕
OS C: (NTFS)		未割り当て		
リカ/リー後のレイアウト: (ディスクをドラッグして移動/サイズ変更ができます。) アクティブにする				OK
л- F-250 (13.71 GB) 13.71 GB				
🗌 SSDに最適化 🔲 セクタバイセクタ復元				
		< 戻る	✔実行	× キャンセル

- 1. 復元先ディスクを選択して「編集」ボタンをクリックします。
- 2. ディスク構造が表示されたら、パーティションをスライドして復元後のサイズを決定し、 「実行」をクリックして復元します。

ダイナミックボリュームの復元

ダイナミックボリュームの復元手順は基本パーティションの復元とほぼ同様です。 *注意:*

バックアップボリュームに OS がインストールされている場合、基本ディスクに復元したボ リュームはプライマリーパーティションとなります。OS がインストールされていない場合 は論理パーティションとなります。

ファイルの復元

ファイルバックアップには「復元」、「バックアップ」および「その他」の3種類のボタン があります。「復元」ボタンをクリックすると作成したバックアップを使って復元します。

EaseUS Todo Backup Home 9.0 Trial	
	ישר אישע איש
	[2] 参照して復元 ≡ 並べ替え▼
□ ローカルディスク(ドライブレターなし) 場所: □ C*My Backups*ローカルディスク(ドライブレターなし) タスクが完了しました。	は元 バックアップ マ その他 マ
日日 システムパックアップ 場所: ⇔ C×My Backupsギシステムバックアップ タスクが完了しました。	◆ / / / / / / / / / / / / / / / / / / /
favorites 場所: □ C*My Backups¥favorites タスが完了しました。	(復元) ぼ元 パックアップ ・ その他 ・

「**履歴」**の中からバックアップに使用するものを選択し、内容を確認して「次へ」ボタン をクリックし、復元先となるターゲットを選択します。

ファイル復元	₩ = ¤ ×
favorites 2015/12/15 1 0:13 完全パックアップ ① 履歴	
 復元するファイルを試 ● 2015/12/15 10:13 完全バックアップ ● 種類 ● 検索 ● ○ 完全 ● 増分 ● 差分 	
 ○ 復元場所を指定: ● 元の場所に復元 □ 既存のファイルに上書き 	参照
✓ 実行	j × キャンセル

1. 復元可能なファイルが表示されます。次の3種類のモードで復元するファイルを選択します:ファイル、種類、検索

2. ファイルやフォルダーを元の位置、あるいは元の位置とは異なる場所に復元します。

既存のファイルに上書き:有効にした場合、元のファイルとフォルダーは復元後に上書き されます。

スマートバックアップの復元

スマートバックアップには「復元」、および「その他」の2種類のボタンがあります。「復 元」ボタンをクリックすると作成したバックアップを使って復元します。

C EaseUS Todo Backup Home 9.0 Trial			□ _ □ ×
日 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 」 「 」 「 」 「 」 」 」 「 」 」 」 」 」 」 「 」 」 」 」 』	口 加ーン	ت ت	אי ש−ル •
	[ସୁ	参照して復元	≣ 並べ替え ▼
 スマートバックアップ 場所: □ C¥My Backups¥スマートバックアップ スマートバックアップであなたのファイルを保護します。■ 		(復元	でう その他 ▼
□ ローカルディスク(ドライブレターなし) 場所: □ CMMy Backups¥ローカルディスク(ドライブレターなし) タスが完了しました。	有	バックアップ マ	その他 ▼
日日 システムバックアップ 場所: □ C*My Backups*システムバックアップ タスクが完了しました。	く復元	パックアップ マ	その他 ▼
試用期間残り30日 <u>ライセンス認証</u>			4.12

「**履歴」**の中からバックアップに使用するものを選択し、内容を確認して「**次へ」**ボタン をクリックし、復元先となるターゲットを選択します。

ファイル復元			₩ _ ¤ ×
スマートバッ 2015/12/1	クアップ 5 18:10 完全パックアップ ① 履歴		
復元するファイルを述 ・ ファイル ・ 種類 ・ 検索	○ 2015/12/15 18:10 完全バックアップ		
	 ○完全 ○増分 ○差分 		6.07
○ 18元功所を ④ 元の場所に1 □ 既存のファイ	^{宿走:} 夏元 WC上書き		
		✔ 実行	× キャンセル

スマートバックアップの復元手順はファイル復元の場合と同一です。またイメージクリー ンアップのルールにより、次の位置に復元することができます。

1. 同一日内に設定した全てのバックアップポイント

2. 最大 14 日前までの中で最初の状態(当日初めてのバックアップ時) 上の画面は「**履歴」**の選択を表示しています。

メールの復元

メールバックアップには「復元」、「バックアップ」および「その他」の3種類のボタンがあります。「復元」ボタンをクリックすると作成したバックアップを使って復元します。

「履歴」の中からバックアップに使用するものを選択します。復元先のメールボックス、 フォルダー、ファイル内容を指定します。 内容を確認してから「次へ」ボタンをクリックし、復元先となるターゲットを選択します。

注意:

復元後も既存のメールおよび連絡先は保持されます。

参照して復元

EaseUS Todo Backup を再インストールしたり、WinPE ブータブルディスクを使用してシス テムを復元したりした場合、それまで作成したバックアップが失われてしまい、メイン画 面にもバックアップが表示されなくなってしまうことがあります。そのような場合に「参 照して復元」を利用します。

K EaseUS Todo Backup Home 9.0 Trial		1	□ _ □ ×
日 日 マ	し かーン	(ت روم	} ツ−ル ▼
		参照して復元	■ 並べ替え ▼
スマートバックアップ 場所: □ C¥My Backups¥スマートバックアップ スマートバックアップであなたのファイルを保護します。■		く復元	だ <u>う</u> その他 ▼
□ ローカルディスク(ドライブレターなし) 場所: □ C¥My Backups¥ローカルディスク(ドライブレターなし) タスが焼了しました。	く復元	איז איז דעילדיט א	だ <u>う</u> その他 ▼
日日 システムバックアップ 場所: C C ¥ My Backups ¥システムバックアップ タスカが完了しました。	く復元	אין גאלגאל א	〔〕 その他 ▼
試用期間残り30日 <u>ライセンス認証</u>			

Windows のフォルダーからイメージを参照して復元に使用します。

個別ファイルの復元

EaseUS イメージファイルに直接アクセスすることができます。PBD ファイルをダブルクリ ックもしくは右クリックで展開してください。ターゲットファイルを確認し、右クリック してメニューを開いたり、コピーしたり、復元したりすることができます。



システム移行

通常、ハードウエアの動作にはドライバーが必要であり、現在使用している PC のシステム を構成の異なる PC にそのまま移動することはできませんし、ドライバーなしでハードウエ アを動作させることもできません。

EaseUS Todo Backupの「システム移行」を使用すれば、次のような場合によく発生するトラブルを容易に解決することができます。

1. 新しく高性能な PC にシステムを移動する場合。

2. ハードウエア更新後に古いシステムを復元、継続使用する場合。

注意:

本機能は Workstation 版以上のみでご利用いただけます。試用版で実施される場合は先に WinPE ブータブルディスクを手動で作成してください。

ロー 日 … なりパーティション ファイルバックアップ システムバックアップ その他のバックアップ・ バックアップ	ロ ケローン	ום: עם	65 11-11
	(空 システム移行) [2]。	参照して復元	■ 並べ替え、
スマートバックアップ ① 場所: ○ C¥My Backups¥スマートバックアップ スマートバックアップであなたのファイルを保護します。■		く復元	だう その他 ▼
 □ ローカルディスク(ドライブレターなし) 場所: □ C*My Backups*□-カルディスク(ドライブレターなし) タスクが完了しました。 	(復元	אין גאפעדאיז ד	だ の他 ▼
日日 システムバックアップ 場所: ー C*My Backups*システムバックアップ タスが応言てしました。	(復元	パックアップ •	で <u>う</u> その他 、

準備

以下のものをご準備ください。

1. 「システムバックアップ」または「ディスク/パーティションバックアップ」で作成した有効なイメージファイル。

2. 転送先マシンに接続もしくは挿入できる「WinPE ブータブルディスク」または「WinPE ブータブルUSB」

3. 転送先マシン上に新しいハードウエア用の inf ドライバーファイル。

注意:

ディスク上に十分な領域が確保できる場合、WinPE ブータブルディスク上にシステムのイ メージファイルや inf ドライバーファイルを保存することもできます。

手順

1. WinPE ブータブルディスクから転送先マシンを起動し、システムのイメージファイルが保存されているドライブが転送先マシンに接続されていることを確認します。

2. メイン画面内の「システム移行」をクリックします。

3. システムのイメージファイルを参照して選択します。

システム移行							= ×
以前に	乍成されたシステムト	ドライブのバックアップィ	(メージを選択し、)	このPCに復元してく	ださい。		
- ト 〇 I - ト 〇 - ト 〇 - 日 ト 〇 - ト 〇 - ト 〇 - ト 〇 -	Drivers easeus_tb_cloud EverySync Intel MSOCache My Backups う favorites う システムバックアッ つ システムバックアッ つ ローカルディスク (PCTransImage PerfLogs	プ アップ_20151215_Ful プ ドライブレターなし) プ_20151215_Full_y	II_v1pbd Ipbd				
	Land Coll of				~	OK	× キャンセル

- 4. 復元先ドライブを選択します。
- 5. 復元が完了したらシステムが移転されたことを確認します。

システム移行	⊨ = - ×
システムパックアップ 20151215 Full v1 2015/12/15 15:09 完全パックアップ ① 履歴	
復元するディスクノパーティションを選択: ディスクロ	
💌 🎍 ハードディスク 0 (931.51 GB.、基本、、MBR)	
REGOVERY * (NTFS) OS C: (NTFS) 空考容量(5.60 GB/13.71 GB) 空考容量(6.17.21 GB/917.76 GB)	
> 次へ	× キャンセル

注意:

RAID SCSI ドライブなど一部のドライブは WinPE 環境下ではデフォルト表示されません。また、ドライブを使用するには適切なドライバーが必要です。詳細は<u>こちら</u>をご参照ください。(英語)

6. システムの復元完了後、特定のハードウエアのドライバー(.inf ファイル)を要求する ウィンドウが起動する場合があります。 リスト表示されるハードウエア情報の中から適切 なドライバーを探して追加すればシステム移行完了後に利用できるようになります。

クローン

ドライブの不具合や容量不足のため、Windows を収録したハードドライブを交換する場合、 「クローン」機能を使って容易にディスクのクローンを作成することができます。

ハードディスクのクローン

OS やプログラムを含む全てのデータを別のディスクにクローンします。ハードディスクを 新しいものに交換する場合に特に便利な機能です。クローン先のディスクは元のディスク より容量の大きなものを使用してください。

手順

1. プログラム画面右上の「クローン」をクリックします。

🚯 EaseUS Todo Backup Home 9.0 Trial	₩ 0 - 0 ×
日 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 」 」 「 」 」 「 」 」 」 」 」 「 」 『 』 』 』 』 』 『 』	ר (ב) יע-ע דם איייע
	[② 参照して復元 🛛 亜ベ替え ▼
□ ローカルディスク(ドライブレターなし) 場所: □ C¥My Backups¥ローカルディスク(ドライブレターなし) タスクが完了しました。	(復元 バックアップ マ その他 マ
日日 システムパックアップ 場所: □ C×Wy Backups¥システムバックアップ タスクが完了しました。	(復元 バックアップ マ その他 マ
「「avorites 場所: ○ C¥My Backups¥favorites タスクが完了しました。	 (復元 バックアップ・ その他・
試用期間9支129日 <u>ライセンス認証</u>	

2. ソースとなるハードディスクを選択して「次へ」をクリックします。

ディスカ/パーティションクローン	₩ = ¤ ×
ソース: ディスク0(*: *: 0:)	
✓ ハードディスク 0 (931.51 GB、基本、MBR) ● * (FAT16) ● RECOVERY * (NTFS) ● RECOVERY * (NTFS)	
● OS C: (NTFS) 空き容量(427.83 GB/917.76 GB)	
<u>次</u> へ	× キャンセル

3. ターゲットとなるハードディスクを選択して「次へ」をクリックします。

۸ードディスク 0 (9)	131.51 GB, 、基本, 、MBR)				
*: (FA 空き容	T16) 重(38.98 MB/39.19 MB)	•	RECOVERY *: (空き容量(5.60 G	NTFS) 編 B/13.71 GB)	集 一
OS C:	(NTFS) 最イル27.83 GB / 017.76 GB) ノフカち ビニッグリーブな 新・(サイブ)本面 す		未割り当て 		
	スクゼドファクしし 行き 朝か リイ 人 友 史 ル	,			
ハードース90 (13.71 GB) 13.71 GB] SSD(2最適化 □ セクタ	バイセクタクローン				

「編集」をクリックすると「リカバリー後のレイアウト」が表示されます。パーティションをスライドしてクローン後のサイズを調整できます。

4. 内容とハードディスクのレイアウトを確認してから「実行」をクリックします。

上級者向けクローン設定

上級者向け設定を活用することで、より安定的でスムーズにクローンを作成できる場合が ありますが、これらの上級者向け設定を行わない場合でもシステムの完全なクローンを行 うことができます。

SSD に最適化: ターゲットディスクに SSD を設定した場合にチェックを入れると適切なセク タ配列でシステムを復元します。

セクタバイセクタクローン:ソースディスク/パーティションと全く同じ内容のターゲット ディスク/パーティションを作成します。空のセクタも含めてクローンするため、全く同じ サイズのクローンが作成されます。ディスククローンやパーティションクローンでセクタ バイセクタクローンを選択した場合も同一の手順で作成されます。

注意:

セクタバイセクタモードでクローンしたディスクやパーティションはサイズを調整するこ とができません。

パーティションのクローン

バックアップ操作は大変便利でシステマチックな作業ですが、クローン作製もシンプルで 直感的な作業でパーティションのコピーを作成します。

手順

1. ソースとなるパーティションを選択して「次へ」をクリックします。一度に1個のパー ティションしかクローンすることができません。

ディスカノパーティションクローン	₩ - □ ×
ሃ አ: ቻ ₁ ኢታወ(ር.)	
■ ハードディスク 0 (93151 GB、基本、MBR) * (FAT16) 空き容量(38.98 MB/39.19 MB) OS C: (NTFS) 空き容量(427.83 GB/917.76 GB) RECOVERY *: (NTFS) 空き容量(427.83 GB/917.76 GB)	
> 次へ	× キャンセル

2. クローンを作成するパーティションを選択します。

ディスカバパーティションクローン			₩ = ¤ ×
ソース: ディスク0(*:) → ターゲット: ディスク0(C:)			
 ▲ ハードディスク 0 (931.51 GB, 、基本、、MBR) ★: (FAT16) 空き容量(38.98 MB/39.19 MB) OS C: (NTFS) (Interplay of a construction of a construc	RECOVERY *: 空き容量(5.60 未割り当て	(NTFS) GB/13.71 GB)	
リカバリー後のレイアウト: (ディスクをドラッグして移動/サイズ変更ができます。) アクティブにする ハー F-スクの … 906 59 GB SSD(2最適化 □ セクタバイセクタクローン			OK
	< 戻る	✔ 実行	× キャンセル

注意:

「「編集」をクリックすると「リカバリー後のレイアウト」が表示されます。パーティションをスライドしてクローン後のサイズを調整できます。ターゲットパーティションから起動する場合は「アクティブにする」を有効にしてください。

ダイナミックディスク/ボリュームのクローン

EaseUS Todo Backup の「クローン」機能を利用すれば、ダイナミックディスクやダイナミ ックボリュームのクローンを作成することができます。異なるディスク上に設定されたダ イナミックボリュームでも、同じダイナミックディスク上にリスト表示されます。

上級者向けサーバーツール

E-mail 管理に MS Exchange、関連データのクエリや更新には MS SQL と言った具合にサーバ 一管理者には様々なツールを操作することが要求されています。ここで扱われるデータは 業務上重要なものです。サーバー管理者はデータのセキュリティ、完全性などに責任を負 うことが求められています。データを定期的にバックアップすることは、予期せぬ不具合 からデータを守ることができるほか、データの状態を維持すると言う点でも非常に有効で す。 EaseUS Todo Backup の「Advanced Server 」および「Technician 」を使用すれば、Exchange サーバー、 MS SQL サーバーおよびイメージアーカイブをテープにバックアップすること ができます。

Exchange のバックアップ

Exchange サーバーは Microsoft Exchange がインストールされた物理/仮想サーバーで、マ イクロソフト製のサーバー向け製品です。電子メール、カレンダー、連絡先およびタスク をつかさどります。モバイルおよびウェブからの情報アクセスに対応しているほか、デー タ保存にも対応しています。最新の EaseUS Todo Backup を使用すれば、ストレージグルー プと個別メールフォルダーをバックアップユニットとして選択することができます。

EaseUS Todo Backup は以下のバージョンに対応しています。 Exchange 2003, 2007, 2010 and 2013

バックアップの開始

バックアップ前に Exchange サーバーがマウントされていることをご確認ください。 「その他のバックアップ」>「Excahange のバックアップ」をクリックして開始します。

- 1. タスク/プラン名と詳細を指定します。
- 2. バックアップソースを選択します。以下の2種類から選択できます。

ストレージグループモード メールボックスモード

3. イメージファイルの保存先を指定します。ローカルディスク、ネットワークフォルダー もしくはテープドライブのいずれかを選択します。下向き矢印をクリックして履歴を確認 します。

4. 「実行」をクリックして設定を終了します。スケジュールを設定していない場合、すぐ にバックアップが実行されます。

復元の開始

Exchange のバックアップと反対の手順でおこないます。Exchange のストレージグループも しくはメールフォルダーを復元します。

1. Exchange のバックアッププランを選択して復元をクリックします。

2. Exchange イメージの履歴から復元に使用するものを選択します。

復元するストレージグループ/メールボックスを指定します。必ずしも全てを選択する必要はありません。複数のストレージグループを含むイメージファイルの任意の一つに記録されたストレージファイルの復元と言った部分的な復元もできます。

4. 現在の復元に関する詳細を確認し、「実行」をクリックします。

EaseUS Todo Backup はストレージグループを元の位置に自動で復元します。復元先を指定 する必要はありません。

注意:

メールボックス復元時でも既存のメールが上書きされることはありません。

SQLバックアップ

SQL とは Structured Query Language の頭文字をとったもので、関係データベース管理シス テムにおけるデータ管理のために設計されています。Microsoft SQL Server の主な機能に はデータの挿入、クエリの更新/削除、スキーマの作成/変更およびデータコントロールの アクセスなどが挙げられます。本製品は MS SQL 2000/2005/2008 に対応しています。 MS SQL のバックアップファイルの拡張子は「. bak」です。

ログイン

メニューから「その他のバックアップ」>「SQL バックアップ」をクリックします。認証画 面が起動しますので、Windows 管理者もしくは SQL サーバーアカウントを入力して認証しま す。認証の際にはログインするインスタンスを選択してください。

ホーム

認証後、データベースリスト、バックアップタスクリストおよび利用可能なオプションを 表示した SQL バックアップのホーム画面が表示されます。

プログラム左画面に全てのデータベースが表示されます。その中から作業をおこなうデー タベースを1個または複数個選択します。画面左下の「**切断」**ボタンをクリックするとイ ンスタンスへの接続が切断されログイン画面に戻ります。「再読み込み」をクリックすると インスタンス内の変更内容を反映します。

バックアップ

通常のデータや Exchange のデータをバックアップする場合とは異なり、バックアップペー ジ内の関連する全てのパラメーターを1ステップで設定し、SQL データベースをバックアッ プすることができます。

基本情報

タスク名: 現在のタスク名を入力します。 **ターゲット**: イメージファイルの保存先を指定します。 **エラー時に続ける**:メディアのエラーを無視するか否か選択します。

プラン

ここで扱う全てのオプションは「スケジュール」を有効にすると利用可能になります。「ス

ケジュール」を有効にすると、毎日、毎週、毎月から実行間隔を設定し、使用するプラン を選択できるようになります。

完全: 全てのデータベースとトランザクションログをバックアップします。 差分: 前回の完全バックアップ以降に変更されたファイルのみバックアップします。 トランザクションログも含まれます。

トランザクションログ: トランザクションログのみバックアップします。

オプション

圧縮:バックアップイメージを圧縮するかしないか選択します。(MS SQL Server 2008 Enterprise 以上のバージョンで有効)

通知:バックアップ結果をメールで通知するかしないか選択します。詳細は別項を参照 してください。

復元モード

復元モードを設定します。

シンプル: ログのバックアップはおこないません。ログを自動消去して必要な領域を 節約し、トランザクションログの保存領域の管理をおこなう必要がなくなります。デー タベースをシンプルモードにすることで、ログをバックアップする必要がなくなり、完 全バックアップのファイルを利用して復元することになります。

完全:ログのバックアップが必要です。全てのログがバックアップされるので個々のト ランザクションを復元することができます。

バルクログ: ログのバックアップが必要です。パフォーマンスの高い大量コピーが可能となり、最低限の記録をおこなうためにログ領域を節約できます。

復元

MS SQL イメージファイルの復元方法について説明します。

- 1. 復元ページを表示します。
- 2. データベースを選択し、復元するイメージを指定します。
- 3. 「復元モードの選択」で復元先のデータベース名と位置を指定し、既存のデータベース に上書き、もしくは新しいデータベースに復元するか選択します。

「エラーでも続ける」を選択した場合は全てのエラーをスキップします。

4. 「実行」をクリックします。

エクスポート/インポート

エクスポート

データベースを MDF ファイルもしくは LDF ファイルのいずれかでエクスポートします。手順の詳細は次の通りです。

1. プログラム画面左のデータベースリストからエクスポートするデータベースを選択します。

2. MDF もしくは LDF ファイルの保存先を指定します。

3. 「実行」をクリックします。

インポート

「参照」をクリックして MDF ファイルをインポートします。データベースの操作記録が不要な場合はログファイルの裏にある「参照」は無視して構いません。

MDF ファイルのインポート時に既存のデータベースを上書き、もしくは新しいデータベース を作成から選択することができます。

ログ

全ての操作はログファイルに記録されており、完了したタスクや完了日時等を確認できま す。

ヒント:

「クリア」ボタンは十分注意してクリックしてください。ログファイル内の全ての情報 が消去されます。

ツール

「ツール」メニュー内には、バックアップの効率化とフレキシビリティの向上に役立つ便 利なオプションがあります。

				▫ -	□ ×
·		し クローン	(1) ق	2 יש	פק ~וו ▼
न	マージをチェック	ブータブルデ の作成	125	<u>」</u> データ消む	去 去
isc	SI/_JT-&-	了 PreOSを有刻	幼化	戸 テープ装記 管理	置
	P2Vコピー	日 P2Vi复元	Ē	国 P2Vの変	奐
	PXEを有効化	עריד דעליד	マウント		

イメージをチェック

イメージのチェックを使用してイメージファイルの有効性を確認できます。チェック中に エラーが確認された場合、そのイメージは破損しており、復元に使用できない場合があり ます。 「イメージをチェック」をクリックし、チェックするイメージファイルを選択、あるいは プログラム画面右上にある「参照」をクリックすれば、単一のイメージファイルをチェッ クすることができます。

イメージをチェック	₩ _ ¤ ×
バックアップタスク、あるいはバックアップイメージを選択してください。	回参照
⇒ ステムバックアップ 場所: 合 C:#My Backups¥システムバックアップ	
□ ーカルディスク(ドライブレターなし) 場所: 合 OX#My Backups¥□ ~カルディスク(ドライブレターなし)	
favorites 堪形: ⊖ 0:#My Backups¥favorites	0
スマートバックアップ 場所: 合 D:¥My Backups¥スマートバックアップ	
☑ 完全チェック ⑦	× キャンセル

注意:

バックアッププランに含まれる全てのイメージがチェックされます。従って多数のイメージがあるバックアッププランのチェックには時間がかかります。

ブータブルディスクの作成

EaseUS Todo Backup を使用してブータブル USB ディスク、CD あるいは DVD を作成すること ができます。これらは Windows が起動で着なくなった場合に使用します。

ブータブルディスクの作成方法

1. 「**ツール」>「ブータブルディスクの作成」**をクリックします。

2. 次に、WinPE ブータブルディスクもしくは Linux ブータブルディスクのいずれかから作成するブータブルディスクの種類を選択します。

ブータブルディスクの作成		₩ _ C ×
ブータブルディスクの	種類:	
● WinPEブータブ	ルディスクの作成	▼ 対応モード
◯ Linuxブータブル	ディスクの作成	
ブータブルディスクの侍	保存先:	
O USB	1 (Generic Storage Device)	T
○ cd/d∧d	E(DVDRAM GH24NSB0)	~
● ISOの作成	C:¥Users¥user¥Desktop¥Emergencydisk.iso	参照
1 ブータブルディスク	を作成できない場合、サードパーティソフトウェアを使用し、Emergency	rdisk.isoを焼いてください。
		実行 キャンセル

「対応モード」にチェックを入れると、現在の PC から必要なドライバーを取得し、WinPE ブータブルディスクに記録します。作成したブータブルディスクを使用してシステムを起 動できない場合、「対応モード」にチェックを入れてディスクを再作成してください。 3. USB ディスクを使用してブータブル USB ディスクを作成する場合や CD/DVD を使用してブ ータブル CD/DVD を作成する場合は、該当する作成方法を選択して「実行」をクリックしま す。

4. 「対応モード」を初めて使用した場合に「マイクロソフトからダウンロード」もしくは 「場所を指定する」のいずれかを選択する画面が表示されます。インターネット環境が利 用できる場合はマイクロソフトから WinPE コンポーネントをダウンロードすることを推奨 します。

ブータブルディスクの作詞	\$	Þ	_		×
ブータブルラ	ディスクの種類:				
⊚ wi	Microsoft WinPEツールが必要です。 🗙 🛓	-ド			
⊖ Lir					
ブータブル	 Microsoftからダウンロード 保存先を指定 				
0 00	「「「」「」「」「」「」「」「」」「」」「」」「」」「」」「」」「」」」				
IS	OK キャンセル				
 	ーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーー	:()o			
	実行	キャ	シセル	,	

「対応モード」未選択時は「実行」ボタンをクリック直後からブータブルディスクの作成 が開始されます。

ータブルディスクの作成	₩ _ □ >
	経過時間 : 00:00:28
WinPE ISOを作成中	
	× キジセル

注意:

WinPE ブータブルディスクとLinux ブータブルディスクに関する詳細は<u>こちら</u>を参照してく ださい。(英語)
 WinPE ブータブルディスクに関する情報(英語):

 WinPE 環境下でドライブが表示されない

 WinPE 環境下でネットワークに接続できない

データ消去

ディスクもしくはパーティション上のデータを完全に消去します。「削除回数」を指定する ことができます。この操作は一旦実行すると取り消すことはできません、データは完全に 失われてしまうので特に注意してください。

テープ管理

データの長期保存のためにテープ媒体を使用している場合、ラベルを見ないと内容を把握 することができません。テープ管理機能を利用すればテープに記録されたイメージを管理 することができるようになります。

この機能を使ってテープに収録されたイメージをローカルドライブに「**コピー」**、テープを 「**取り出し」**、データを「**消去」**といった操作ができます。

Pre-OS を有効/無効にする

Pre-OSは、予期せぬ不具合でシステムが起動できなくなった場合に WinPE ブータブルディ スクの代わりに使用することができます。

Pre-OSの有効/無効の切替をおこないます。

ボタンの表示は Pre-OS の現在の状態に依存します。Pre-OS が有効になっている場合、ボタンの表示は Pre-OS を無効化となります。

Pre-OS が有効化されると PC 起動時に EaseUS ブートメニューが立ち上がります。選択後に Windows へのログイン画面ではなく、EaseUS Todo Backup に入ることができます。

EaseUS Todo Backup のエディションによって2種類のPre-OS環境があります。

Linux Pre-OS

全てのLinux ベースのトライアル版向けで、「復元」と「クローン」の2種類の基本的なオ プションのみ選択可能です。

Windows Pre-OS

WinPE ブータブルディスク作成後、Linux Pre-OS は Windows Pre-OS に変換されます。ほぼ 全ての機能が使用できるようになります。

ISCSI イニシエーター

iSCSI デバイスを接続、構成します。

2種類の接続モードがあります。

クイック接続

「ターゲット」タブの「クイック接続」テキストボックス内にターゲットデバイスの名称 または IP アドレスを入力します。続いて「クイック接続」をクリックします。

アドバンスト接続

1. 「ディスカバリー」タブをクリックします。

2. 「ポータルを検索」をクリックしてターゲットポータルを追加します。「IP アドレス」 または「名前」を入力して接続します。

接続が確立されると iSCSI ドライブをローカルのハードドライブのようにバックアッ プしたり復元したりすることができます。

PXE サーバー設定

PrebooteXecution環境ではネットワークインターフェイス付のPCをデータ保存デバイスから独立して起動することができます。

EaseUS Todo Backup PXE サーバーを使用すれば、ネットワーク起動付きのターゲットマシン上で EaseUS Pre-OS 環境を立ち上げることが可能です。本機能はベアメタル回復やネットワーク構築の際に使用します。

次のエディションでご利用いただけます。 EaseUS Todo Backup Server EaseUS Todo Backup Advanced Server EaseUS Todo Backup Technician

「ツール」内の「PXE を有効化」をクリックして本機能を有効化します。ブートイメージフ オルダーが自動構成されます。

PXE ブートに対応したクライアントマシンのネットワークインターフェイスカードを確認 します。BIOS 設定の「Network boot」を選択してください。PXE サーバーへの接続が確立 されると、クライアントマシンをネットワーク経由で起動できるようになります。

	Boot Menu
1. 2. 3. 4.	+Removable Devices CD-ROM Drive +Hard Drive Network boot from Intel E1000
	<enter setup=""></enter>

		Pho	oen i xBIOS	Setup I	Utility	
Ma	in Adva	inced Seci	ırity	Boot	Exit	
	+Removable CD-ROM Dri	Devices ve				Item Specific Help
	*Hard Drive Network bo	ot from Intel	E1000			Keys used to view or configure devices: <enter> expands or collapses devices with a + or - <ctrl+enter> expands all <+> and <-> moves the device up or down. <n> May move removable device between Hard Disk or Removable Disk <d> Remove a device that is not installed.</d></n></ctrl+enter></enter>
F1 Esc	Help ↑↓ Exit ↔	Select Item Select Menu	-/+ Enter	Change Select	Values ► Sub-Me	F9 Setup Defaults enu F10 Save and Exit

注意:

ネットワーク上に有効な DHCP (Dynamic Host Control Protocol)があることを確認し てください。起動中のコンピューターが IP アドレスを自動取得し、MaseUS Todo Backup PXE 環境下に起動することができます。

P2V コピー

EaseUS Todo Backup では、物理マシンから仮想マシンに容易かつ効率的にドライブを移動できる P2V ツールをお使い頂けます。

起動中のシステムを仮想環境に変換する場合は、「ツール」>「P2V コピーをクリックして ください。バックアップや復元をおこなうことなく仮想マシンを作成することができます。

2V38-					\ <u>□</u> = □ ×
ディスタ/パーティシ:	ョンを選択してください。				
🔳 🖌 ハードデ	イスク 0 (931.51 GB, 、基本, 、MBR)			
	*: (FAT16) 「 空き容量(38.98 MB/39.19 MB)			RECOVERY *: (NTFS) 空き容量(5.60 GB/13.71 GB)	
Ø	OS C: (NTFS) 空き容量(423.80 GB/917.76 GE	3)			
🗌 ৫০৯/১৭৫০৯	リドックアップ				
ターゲット: 📄 Ci¥l	My Backups			空き容量: 423.30 GB 容量: 91	17.76 GB 🛛 🗸 🖉 🛅
仮想マシン名:Wir	ndows_7_×64				-
仮想化ソフトの開発対	元: VMware Workstation	バージョン: VMware	Workstatio	n 7.0	仮想マシンの編集
				✓ 実行	× キャンセル

1. 変換するディスク/パーティションを選択します。システムパーティションおよびブートパーティションが初期設定されており、これらは選択解除することができません。これら以外に変換するパーティション/ディスクを追加します。

2. ターゲットとなる仮想マシンを指定します。ローカルディスクとネットワークフォルダーを保存先に設定することができます。下向き矢印をクリックすると履歴から選択できます。

3. 仮想マシンのパラメーターを構成します。

仮想マシン名

仮想マシンの名前を編集します。OS の名称が初期設定されています。

仮想ソフトの開発元

仮想マシンの変換後の種類を指定します。VMWare Workstation および MS Virtual PC に対応しています。

バージョン

変換された仮想マシンで仮想ソフトウエアを正しく動作するため、適切なバージョンを選 択します。

仮想マシンの編集

仮想マシンのプロセッサーやコア数、メモリー容量、ハードディスクの種類や容量などの 設定を編集します。

P2V 復元

P2V 復元を利用すれば EaseUS ディスク/バックアップイメージを仮想マシン上に復元することができます。「ツール」>「P2V 復元」をクリックしてください。

P2VI复元	₩ = ¤ ×
バックアップタスク、あるいはバックアップイメージを選択してください。	回参照
□ ジステムパックアップ 場所: □ C.¥My Backups¥システムパックアップ	۲
□ つカルディスク(ドライブレターなし) 場所: □ 0.¥My Backups¥□ つカルディスク(ドライブレターなし)	0
> 次へ	× キャンセル

1. 復元するバックアッププランを選択します。システムバックアップもしくはシステムを 含んだディスク/パーティションバックアップを指定してください。リスト内にバックアッ プがない場合は「参照」をクリックして手動入力してください。

2. ターゲットとなる仮想マシンを指定します。ローカルディスクとネットワークフォル ダーを復元先に設定することができます。下向き矢印をクリックすると履歴から選択できま す。

3. 仮想マシンのパラメーターを構成します。

P2Vの変換

簡単な作業で作成した EaseUS ディスク/パーティションイメージを仮想ディスクに変換することができます。「ツール」>「P2V の変換」をクリックしてください。

P2V0/变换	₩ = ¤ ×
バックアップタスク、あるいはバックアップイメージを選択してください。	回参照
ジステムパックアップ 場所: □ C:¥My Backups¥システムバックアップ	
□-カルディスク(ドライブレターなし) 場所: 臼 O:¥My Backups¥□ つルディスク(ドライブレターなし)	
> 次八	× キャンセル

1. 復元するバックアッププランを選択します。システムバックアップもしくはシステムを 含んだディスク/パーティションバックアップを指定してください。リスト内にバックアッ プがない場合は「参照」をクリックして手動入力してください。

2. 変換するパーティションもしくはハードディスクを選択します。

仮想ディスクの保存先を指定します。ローカルディスクとネットワークフォルダーを復元先に設定することができます。下向き矢印をクリックすると履歴から選択できます。
 仮想ディスクのパラメーターを構成します。

仮想ディスク名:仮想ディスクの名前を指定します。 **仮想ソフトウエアの開発元:**.vmdk もしくは .vhd を作成する VMware あるいは仮想 PC を指 定します。

マウント/アンマウント

マウント機能を使ってディスク/パーティションイメージもしくはシステムイメージ (*. PBD file)内のファイルやフォルダーを参照/確認することができます。全てのイメー ジを復元することなくマウントされたドライブから必要なファイルを直接コピーすること ができます。

本機能を使用して作成したイメージの有効性を確認することもできます。

マウント/アンマウント	₩ _ = ×
バックアップタスク、あるいはバックアップイメージを選択してください。	回参照
□□ システムバックアップ □□ 場所: □□ C#My Backups¥システムバックアップ	
□ つカルディスク(ドライブレターなし) 場所: □ 0¥My Backups¥□ つかルディスク(ドライブレターなし)	
マウントされたディスクの管理	
> 次へ	× キャンセル

1. 「ツール」>「マウント/アンマウント」を選択すると、利用できるバックアップが一覧表示されます。

2. 使用するバックアップを選択し、「次へ」をクリックします。

3. 「ソース」を選択し、「次へ」をクリックしてマウントを実行します。

イメージをアンマウントする場合は「マウントされたディスクの管理」をクリックします。

ヒント:

本機能は「ファイルバックアップ」には対応していません。

暗号化されたアーカイブをマウントする場合はパスワードを入力してください。

完全なアクセス権を維持するため、イメージの作成とそのマウントは同一の Windows ア カウント内で実施してください。

マウントされたドライバーはコンピューター再起動後に自動消去されます。

WinPE の特別ツール

WinPE と Pre-OS 環境ではスムーズに復元をおこなえるようにするため、「ツール」内のオプションのいくつかが新しいものと入れ替わります。

Windows シェル

MS-DOS コマンドボックスを起動して異なるコマンドを入力してバックアップの効率や安全 性を向上させることができます。例えば、パーティションのバックアップ前に CHKDSK でエ ラーチェック、Drvload でハードウェアを追加、DISKPART でパーティションの作成といっ た操作ができます。

Windows のコマンドに関する知見のある方向けの機能です。

ドライバーマネージャー

WinPE および Pre-OS 内にインストールされたドライバーがないと認識されない RAID、SCSI およびネットワークカードがあります。このオプションを使用すればそのようなハードウ エア向けにドライバーを追加でき、スムーズに復元作業をおこなえます。

ネットワークマネージャー

ネットワークアクセスパラメータの管理もしくは設定の際に共有フォルダーの読み込みに 失敗した場合に使用するオプションです。

ネットワークドライブのマップ: バックアップあるいは復元するドライブをローカルドラ イブとしてマップします。 ネットワークドライブの編集:マップされたドライブのパラメーターを変更します。 ネットワークドライブの切断:「ネットワークドライブのマップ」で作成したマップされた ドライブを消去します。 IP 設定: IP パラメーターを構成します。

MBR の修理

「MBR の修理」を使用して MBR セクターに新しいボート情報を記入することでブート時の問 題を解決できる場合があります

WinPE Pre-OS または WinPE ブータブル環境内の「ツール」から「MBR の修理」をクリック して起動し、修理するディスクを選択して「実行」をクリックします。

パーティションのチェック

パーティションに論理エラーがある場合、本製品を使ったバックアップができないことが あります。そのため、パーティションのエラーをチェックし、修復してからバックアップ する必要があります。この機能は WinPE Pre-OS もしくは WinPE ブータブル環境のみで利用 することができます。「ツール」>「パーティションのチェック」を選択し、「次へ」をク リックして開始してください。

ログ

「**ログ**」をクリックすると、保存されている全てのバックアップ操作と結果が表示されま す。失敗した操作は赤で示されます。「詳細」をクリックして内容を確認できます。

טֿים	₩ _ ¤ ×
スマートパックアップ 前回の操作:2015/12/18 16:51:54 - 完了	言羊糸田
□ ローカルディスク (ドライブレターなし) 前回の操作: 2015/12/15 17:43:35 - 完了	言羊糸田
○ システムパックアップ 前回の操作:2015/12/15 17:32:57 - 完了	言羊糸田
favorites 前回の操作:2015/12/15 10:14:18 - 完了	言羊糸田
すべて出力 すべてクリア	🗸 ок

以下の操作が実行可能です:

「すべて出力」: 全てのログを TXT もしくは XLS ファイルに出力します。 「すべてクリア」: 全てのログを消去します。 「詳細」: 個々のバックアッププランの詳細を表示します。



プログラム画面右上にあるドロップダウンメニュー内に「設定」があります。



「設定」をクリックすると、次のような設定画面が表示されます。「言語」は日本語のみ選択できます。また、「バックアップの保存先」もここで設定します。

設定	×
言語 日本語	
バックアップの保存先	× 🗎
✓ アップデートを自動的に確認 ✓ ユーザーエクスペリエンス向上プログラムに参加	
☑ バックアップ時に通知トレイを表示 ⑦	
✓ 適用	× キャンセル

その他の項目については次の通りです:「アップデートを自動的に確認」のチェックを解除 すると、アップデート情報が通知されません。

本製品の動作情報を提供して製品の改良にご協力いただける場合は「ユーザーエクスペリ エンス向上プログラムに参加」にチェックを入れてください。

「**バックアップ時に通知トレイを表示」**のチェックを解除すると、システムトレイに通知 が表示されなくなります。

サポート

本マニュアルに記載のない項目でも<u>ナレッジベース</u>に記載がある場合があります。また、 EaseUS Todo Backup のよくあるトピックや詳細情報も利用可能です。(英語)



エラーや不具合を発見した場合、「レポートを作成」して送信してください。



本マニュアルは 2015 年 12 月 11 日現在

http://www.todo-backup.com/download/docs/User_Guide.pdfにて公開されている英文マ ニュアルを編集・和訳したものです。英文マニュアルに変更が生じた場合、および英文と 和訳の間で記載内容や解釈に差異がある場合は原則として英文記載の内容または解釈が優 先されます。また、マニュアルの記載内容と実際のソフトの状態に差異がある場合は、ソ フトの状態を優先します。